

# INFORMATION

## 平成31年度農林水産予算概算決定の概要

農林水産省は平成30年12月21日、平成31年度農林水産予算概算決定の概要を公表した。ここでは、その中から主要な酪農振興施策の概要を紹介する。

### 1. 酪農の経営安定対策

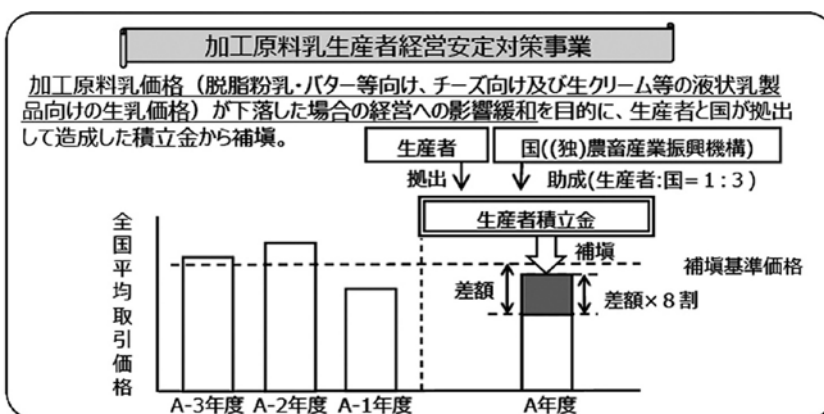
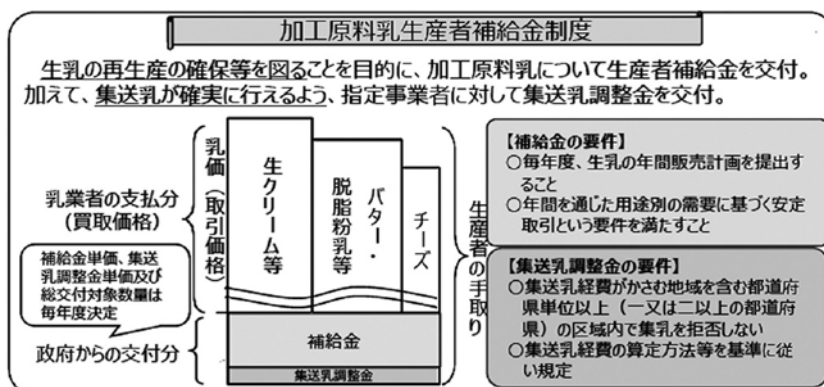
加工原料乳（脱脂粉乳・バター等向け、チーズ向け及び生クリーム等の液状乳製品向けの生乳）について生産者補給金を交付するとともに、指定事業者に対し集送乳調整金を交付する。また加工原料乳の取引価格が低落した場合の補填を行う。

(1) 加工原料乳を対象とする生産者補給金等の交付

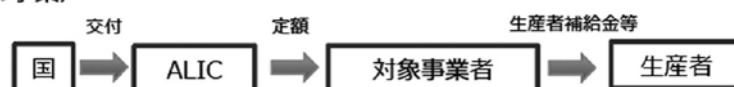
加工原料乳生産者補給金等（所要額）

36,768百万円

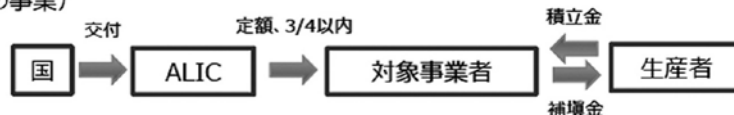
畜産経営の安定に関する法律に基づき、生乳の再生産の確保と全国の酪農経営の安定を図るため、加工原料乳について生産者補給金等を交付する。総交付対象数量は340万トン、生産者補給金単価は8.31円/kg、集送乳調整金単価は2.49円/kgとする。



(1)の事業



(2)の事業



積立金 ALIC : 生産者 = 3 : 1

(2) 加工原料乳の取引価格が低落した場合の補填

加工原料乳の取引価格が補填基準価格（過去3年間の取引価格の平均）を下回った場合に、生産者に補填金（低落分の8割）を交付する事業を引き続き実施する。

2. 環境負荷軽減型酪農経営支援（エコ酪事業）

平成31年度予算概算決定額6,331百万円

酪農経営における飼養規模の拡大等による環境問題に対処するため、ふん尿の還元等に必要な飼料作付面積の確保を前提として酪農家が行う環境負荷軽減の取組（資源循環促進、地球温暖化防止、生物多様性保全等）を支援する。

(1) 環境負荷軽減型酪農経営支援事業

ふん尿の還元に必要な飼料作付面積を確保しながら環境負荷軽減に取り組んでいる酪農家に対し、飼料作付面積に応じて交付金を交付（ア）する。また、有機飼料生産の取組に交付金を追加交付（イ）する。

1) 対象者の要件

- ・飼料作付面積が北海道で40 a / 頭以上、都府県で10 a / 頭以上
- ・環境負荷軽減に取り組んでいること（表中の9メニューから選択）

2) 交付金単価

- ア 飼料作付面積1.5万円 / 1 ha
- イ 有機飼料作付面積1.5万円 + 3万円 / 1 ha（追加交付）

目的	取組メニュー
資源循環促進	① 堆肥の適正還元の取組
	② 国産副産物の利用促進
	③ スラリー等の土中施用
	④ サイレージ生産の適正管理
地球温暖化防止	⑤ 温室効果ガス放出量削減の取組
	⑥ 化学肥料利用量の削減
	⑦ 連作防止の実施
	⑧ 放牧の実施
生物多様性保全	⑨ 農薬使用量の削減

(2) 環境負荷軽減型酪農経営支援推進事業

環境負荷軽減型酪農経営支援事業の実施のための推進活動、要件確認、事業効果の測定等に必要な経費に対して補助する。

3. 畜産経営体生産性向上対策

平成31年度予算概算決定額3,000百万円

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・省力化に

資するロボット・AI・IoT等の先端技術の導入や、畜産農家に高度かつ総合的な経営アドバイスを提供するためのビッグデータ構築を支援する。

(1) 畜産経営体の生産性向上対策

畜産農家の省力化・生産性向上を図るため、以下の取組を支援する。

- ①搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
- ②畜産農家のICT化に向けた調査
- ③IoT機械装置の規格にあった家畜生産等の推進

(2) 全国データベース構築

生産関連情報を一元的に集約する全国データベースの構築及びデータベースに基づき高度な経営アドバイスを提供する体制の構築等を支援する。

4. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)

平成30年度第2次補正予算額56,002百万円

(このほか国産チーズ振興枠9,000百万円)

畜産クラスター計画を策定した地域に対し、地域の収益性向上等に必要な機械導入や施設整備、施設整備と一体的な家畜導入等を支援する。平成30年度事業では、畜産環境対策の取組を優先的に採択・配分する「環境枠」を新設する。

(1) 施設整備事業

畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体に対し、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備や施設整備と一体的な家畜導入を支援する。

(2) 機械導入事業

畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体に対し、施設整備との一体性も確保しつつ、収益力の強化等に必要な機械の導入を支援する。

(3) 調査・実証・推進事業

1) 収益力の強化に向けた新たな取組を行う畜産クラスター協議会に対し、その効果を実証するために必要な調査・分析を支援する。

2) 畜産クラスター事業の効果を一層高めるため、地域の連携をコーディネートする人材の育成を支援する。

※ チーズ製造を行う乳業メーカーやチーズ工房が参画し、原料乳のコスト低減や高品質化に取り組む畜産クラスター協議会に対して、取組に必要な施設の整備や機械の導入を支援する「国産チーズ振興枠」を措置する。